



■財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961  
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

■平成19年度 長崎平和推進協会事業報告 ■被爆者健康講話 ■青少年ピースボランティア  
■平和の灯 ■海外原爆展（祈念館だより） ■ピースメッセージ募集 ■TOPICS



5月から追悼平和祈念館研究室においても被爆体験講話が聴けるようになりました。  
平成20年5月8日(休) 福岡県小郡市立御原小学校 (講師 谷口恵美さん)

# 昨年度はこのような事業を行いました！

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に寄与し、  
平和への認識をさらに深めてもらうために次の事業を実施しました

## I 一般事業

### 1. 発刊事業 (1,614,825円)

◎会報「へいわ」の発行 年4回発行  
◎ブックレット「平和のあゆみ」の発行 年1回発行  
◎情報BOXの発行 月1回発行

### 2. 啓発事業 (2,179,150円)

#### ●ピースネットの実施

19年度 5件

遠隔地の小・中学校に対し、テレビ会議システムによる平和学習を実施しました。

#### ●平和学習

19年度 1,060校 140,814人

内訳 小学校424校、中学校373校  
高校194校、一般69件

被爆の実相を伝えるため、修学旅行生や市内の小・中学校などに被爆体験講話を実施しました。

#### ●原爆被災写真パネル・ビデオの貸出

19年度 パネル17件 ビデオ105本

#### ●出前講座の開催

より多くの人たちに被爆の実相や被爆者の体験などを知ってもらうため、各地に出向いて講座を開催しました。

#### ●講演会の開催

海老名香葉子氏  
講演会  
20年2月22日  
長崎市平和会館



#### ●国連軍縮週間行事

19年10月27日開催

- ・屋内行事（祈念館交流ラウンジ）  
アジア青年平和交流事業報告会
- ・屋外行事（資料館前階段下広場）  
戦時食、紙風船、  
折鶴コーナー、  
原爆写真パネル展、  
紙しばい、ミニコンサート、  
チャリティー  
など



10月24日からの「国連軍縮週間」に市民の平和意識の高揚と平和問題の認識を高めるために「市民のつどい」と題して各種の催しを行いました。

#### ●県外原爆展・被爆体験講話の開催

19年度開催都市 13市町村

高知市、三重県四日市市、三重県津市、岩手県川井村、大阪府八尾市、宮崎県日向市、京都府宇治市、北海道函館市、札幌市、東京都、鹿児島市、千葉県浦安市、神奈川県藤沢市

原爆の問題に触れる機会の少ない県外の方々に被爆の実相や核兵器の恐ろしさを知ってもらうために、県外の都市や団体、長崎市との共催でパネルの展示や被爆者による体験講話を開催しました。

### 3. 調査研究事業費 (85,960円)

#### ●国際平和シンポジウムへの参加

協会が後援した「国際平和シンポジウム」(広島市)に職員などを派遣し、核廃絶に向けて、情報収集などを行いました。

### 4. 育成事業 (7,049,269円)

#### ●部会活動

継承部会 被爆体験講話などを担当

写真資料調査部会  
被爆写真の分類整理を担当

国際交流部会  
外国人来訪者の通訳・案内などを担当

音楽部会  
音楽会の企画を担当

会員が市民とともに平和意識の高揚を深めるために活動を行いました。

#### ●アジア青年平和交流事業

19年8月25日～30日

シンガポール・マレーシア訪問(5名)

長崎の青年がアジアの各国を訪問し、現地の大学で平和についてのプレゼンテーションや討論を行い、学生と交流を行いました。



#### ●平和案内人育成事業

平和案内人 31名(3期生)

被爆体験を継承し、被爆建造物などのガイドができる平和案内人を育成しました。

#### ●平和案内人派遣事業

おもに観光客を対象とした碑めぐりや資料館、祈念館などのガイドとして派遣しました。

#### ●平和活動支援

- ・「ながさき平和大集会」
- ・「第45回原爆忌文芸大会」
- ・「第19回外国人による日本語弁論大会」
- ・「第24回長崎平和音楽祭」

協会の活動趣旨と一致する活動に対して助成しました。

#### ●秋月グラント

- ・「歌の千羽鶴」
- ・「カヤノのためのエレジー」  
長崎公演
- ・「第2回青少年による世代間&国際交流」

被爆の継承や平和意識高揚のための新たな事業などへ助成しました。

## II 受託事業

(275,783,065円)

- ・長崎原爆資料館観覧料徴収業務  
及び受付案内業務
- ・長崎原爆資料館図書資料整理業務
- ・国立長崎原爆死没者  
追悼平和祈念館運営事業

長崎市や国からの委託を受けて上記の事業を行いました。

## III 収益事業

売上金額 (25,287,557円)

原爆・平和に関する図書や平和意識啓発普及のための物品などの販売を長崎原爆資料館の図書販売コーナーで行いました。



# 被爆者健康講話が始まる

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

追悼平和祈念館では、長崎大学の協力を得て、本館の特徴的な機能の一つである、被爆者への治療の現状や研究活動の紹介とともに、平和や被爆者医療に関する国際機関、平和関連施設、NGOなどの紹介をしています。

今回、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科・放射線医療科学専攻・放射線疫学分野の高村昇教授の発案で始められることになった「被爆者健康講話」が6月12日開講され、その第一回目が国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館研究室で開催されました。

平和推進協会継承部会や被爆者手帳友の会、被爆者手帳友愛会、遺族会、被爆連、それに市内在住の一般被爆者など30名あまりの方々が参加し、追悼平和祈念館の内田館長の開講あいさつと祈念館の紹介が始まりました。

「あなたの動脈硬化、チェックしてみませんか？」と題して講話した高村先生は、昭和22年当時の平均寿命は50・05歳であったのが、現在のように大きく伸びた原因に、0才児の死亡率が下がったことや、戦後の衛生状態が大きく改善され、食糧事情が良くなったことをあげました。

しかし、最近では食の欧米化や喫煙率が上がった影響から、心疾患・脳血管障害など、血管疾患で

ある生活習慣病が増え続けることが考えられると述べました。また、その生活習慣病を防ぐためには、①適正な睡眠（7〜8時間）。②喫煙しない。③適正体重の維持。④過度な飲酒をしない。⑤定期的な運動。⑥朝食を毎日摂る。⑦間食をしないなど7つの項目を上げました。

いずれにしても、血管障害を早く見つけることが大切であり、動脈硬化の評価をしないとけないと述べ、これまでの家族歴やコレステロール値・血圧・糖尿病の有無等を把握し、動脈硬化予防が血管疾患のリスク軽減につながって行くことを知る必要がある。動脈硬化を直接評価する方法としては、超音波（エコー）による頸動脈の

内膜、中膜、外膜の複合体の厚さを測定する方法が直接評価する方法としてあり、内膜・中膜は年齢とともに厚くなっていくが、コレステロール・

血圧・喫煙で加速する可能性も大きい。また、その厚さで血管年齢をはかることができるなどと述べました。

その後、高村先生自らが、頸動脈複合体の厚さを測定する超音波測定器を用いて、受講者の中から希望者の方々と検査しました。ほとんどの参加者が検査を希望し、その結果は来月の第2回講話時に渡されることになりました。高村先生の講話は、たいへん聴きやすく興味深い話で、あつという間の1時間でした。受講者からは「来月の講話が楽しみです」という声がかれました。

## 「被爆者健康講話」のお知らせ

第2回目・「生活習慣とメタボリックシンドローム」

講師・高村昇教授 日時・7月1日(火)

第3回目・「チェルノブイリ事故から22年・世界の被爆者」

講師・高村昇教授 日時・8月7日(木)

第4回目・「老いは足から」からだを動かしましょう」

講師・森下先生 日時・9月4日(木)

第5回目・「薬の効き方（薬と食品の相互作用）」

講師・平良先生 日時・10月2日(木)

※ 時間はいずれも、午後3時から4時。

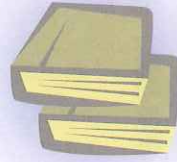
会場は、追悼平和祈念館地下1階研究室。

但し、第3回・8月7日のみ同館地下2階、交流ラウンジで行います。



動脈硬化の話に聞き入る受講者

# 風通し



8月に平和公園祈念像前広場で執り行われる平和祈念式典に向けて追悼平和祈念館で保管されている原爆死没者名簿の風通しが5月30日に行われました。

前夜のうちに名簿棚から運び出された名前の分からない死没者のための白紙の名簿1冊を含む144冊の名簿は、当日の朝に交流ラウンジに敷かれた白い布の上に並べられ、原爆投下時刻の午前11時2分に長崎市職員、祈念館職員のほか、居合わせた来館者が

黙祷を捧げた後、取材に訪れた多くの報道陣に見守られながら白い手袋を着けた原爆被爆対策部の職員の手により1ページずつゆっくりとめくられ、初夏の暖かな風にその身をゆだねました。

1時間ほどで作業が終わり、その日のうちに名簿棚に戻された名簿は、8月のあの決して忘れることのできない記憶の日まで祈念館の追悼空間にまた静かに安置されます。



## 祈念式典は祈念館でも中継します

8月9日(土)に開催される平和祈念式典は、追悼平和祈念館でもご覧になれます。

当日は会場と中継を結び、地下2階の交流ラウンジで式典の様子を放映します。

なお、ご来場された方には式典の式次第と平和宣言文を解説したパンフレットを配布します。

※配布物は部数に限りがあるため、途中で終了となることがあります。  
※荒天により式典がブリックホール開催になった場合は、中継はありません。



昨年の祈念館交流ラウンジのようす

## 祈念館の開館時間延長

追悼平和祈念館では8月7日から9日まで、通常の午後6時30分の閉館時間を午後8時に延長します。

地上の水盤のあかりも午後8時まで点灯しておりますので、夜間のご来館の際には、ぜひ一緒にご覧ください。

ただし、8月8日から10日までは、平和祈念式典のため、原爆死没者名簿は祈念館にはございません。ご了承ください。

## 遺影や体験記をお寄せください

追悼平和祈念館では、原爆により亡くなられた方のお名前やご遺影(原則としてご遺族の方からのみ)を募集しています。お寄せいただいたお名前やご遺影は祈念館に登録後、永久に保存され、公開を希望された方については館内のモニターでご覧いただけるようになります。

また、被爆体験を綴った体験記も募集しております。体験記は被爆の実相を後世に伝えるため、祈念館で整理をしたのち、館内の閲覧室で公開します。

# 青少年ピースボランティア募集!

被爆都市長崎で、被爆の実相を学んだり、平和な社会をつくるためにできることに取り組んでみませんか。

## 対象者

15歳以上30歳未満の方  
(ただし、高校生以上)

## 活動状況

月1〜2回、土曜日または日曜日に原爆資料館などで活動します。

## お申し込み・お問い合わせ

申込書を郵送、FAXまたはメールにてお送りください。

※申込書はホームページからダウンロードできます。

## 【あて先など】

〒852-8117

長崎市平野町7番8号

長崎市平和学習支援室(長崎原爆資料館内)

電話 095(844)3913

FAX 095(846)5170

## E-mail

hei.wagakushu@city.nagasaki.lg.jp

ホームページ

[http://www.1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/pa/pv/pvindex\\_j.html](http://www.1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/pa/pv/pvindex_j.html)

[http://www.1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/pa/pv/pvindex\\_j.html](http://www.1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/pa/pv/pvindex_j.html)

## 次回活動日

日時 7月5日(土)

午後1時〜午後4時

場所 長崎原爆資料館平和学習室



## 青少年ピースボランティアとは?

協会が共催する事業で、青少年が被爆の実相や戦争について学び、さまざまな視点から平和について考え、行動することにより被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ることを目的としています。

8月8・9日の「青少年ピースフォーラム」では、全国の児童・生徒に被爆建造物を案内し、フォーラムの進行を担当するほか、市の平和関連行事でボランティアや平和についての学習会などを開催します。

また、東京・京都・広島・沖縄への派遣研修「青少年平和交流事業」も実施しています。

Let's Challenge!

## あなたの「平和の灯」を作ってみませんか?

小・中学生などが平和への願いをこめて作った6000本のキャンドルに灯をともし、平和を祈るコンサートを開催します。

また、当日は会場内でキャンドルにメッセージやイラストを描くこともでき、あなたの想いをのせたオリジナルのキャンドルが平和の灯として会場を彩ります。

もちろん、色とりどりの灯の見学や夜空に響くコンサートへの来場も大歓迎です。

■日時 8月8日(金) 19:00~20:30

※雨天時は9日(土)に延期します

■場所 平和の泉(平和公園)

■出演者 城山小学校・山里小学校児童、江平中学校生徒、十八銀行混声合唱団、長崎県オペラ協会

■入場料 無料(ただし、キャンドルの絵付けは100円(材料代))

■お問い合わせ

平和の灯実行委員会(長崎市平和学習支援室内)  
(電話095(844)3913)



# 祈念館だより

## 海外原爆展について

被爆60周年を記念して開催された祈念館主催の海外原爆展も今年で4年目を迎えました。



今回は10月上旬から12月中旬までの日程で、アントワープ市（ベルギー）での開催を計画しております。会場のアントワープ州市立平和センター（写真）はE.Uの情報基地

であるだけでなく、戦争の愚かさ、犯罪の悲惨さなどを展示し、あらゆる観点から平和を発信する重要な拠点でもあります。

第2次世界大戦中にロケット弾により甚大な被害を被ったこの地において被爆体験講話などを通じて核兵器廃絶を訴え、平和の尊さを呼び掛けたと思います。



# みなさんの平和へのメッセージをお預かりします

追悼平和祈念館ではみなさんが考える「平和」のメッセージやイラストを募集します。

戦争に関係した街を訪れたときや本や新聞、映画やテレビなどを見て何かを感じたときなどに心に浮かんだ想いを1枚の作品にまとめてお送りください。

お送りいただいた作品は、デジタル化処理をしたのち、コンピューター上に10年間保存して来館者の方などに公開します。

登録料や管理料は無料です。



登録・公開の一例

## 募集要項

### ○作品について

A3またはA4サイズ(横向き)の用紙を使用し、裏に「住所」「氏名」「年齢」「性別」「登録希望日(発送日から7日目以降を指定できます)」「メッセージのあて先」を書いてください。

### 「メッセージのあて先」は

次の中から選んでください。

- ・10年後の自分へ
- ・お父さんへ・お母さんへ
- ・おじいさんへ・おばあさんへ
- ・子供へ・友達へ・みんなへ

### ○応募について

作品と本人の写真(登録希望の方のみ)を次のあて先にお送りください。

### 【あて先】

〒852-1811  
長崎市平野町7番8号  
国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館  
「平和へのメッセージ」係  
なお、お送りいただいた作品、写真は返却できません。

## その他

作品には、鉛筆などの色の薄いものや凹凸のあるものは使用しないでください。

お送りいただいた作品及び写真の著作権は、当館及び(財)長崎平和推進協会に帰属します。

作品の公開は当館のほか、当館または(財)長崎平和推進協会が運営するウェブサイトや発行する印刷物で公開することがあります。

住所は都道府県名(海外在住者は国名)だけ公開されます。

電子データによる応募は受け付けることができません。

社会通念上、不適切と判断されるものは、非公開とすることがあります。

## お問い合わせ

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館  
電話095(814)0055  
E-mail  
message@peace-nagasaki.go.jp



昨年7月に開催した碑めぐりのようす

## 被爆地碑めぐりのご案内

まもなくあの日から63年目の夏—  
いっしょに被爆の実相についてもう一度学んでみませんか！

継承部会の碑めぐり班と平和案内人の協力で詳しくご案内します。

参加者にはコース周辺の資料を差し上げます。

申し込みは不要で、どなたでも参加できます。当日、直接集合場所へお越しください。

### 日時

7月27日(日) 10:00~12:00 ※小雨決行

### 集合場所

9時50分までに大橋公園に集合

※岩屋橋バス停近くの楽器モニュメントが目印

### コース

壊滅した電鉄大橋営業所跡  
～水を求め、人々が飛び込んだ浦上川一帯  
～瓦礫と死体が散らばっていた城山住宅方面

## 「紙しばい会」発表会

「紙しばい」を通して被爆の実相を伝え、核兵器の廃絶と平和な世界の実現に役立てればとの想いで、継承部会と平和案内人の有志が結成した「紙しばい会」が発表会を開催します。

長崎原爆に関するさまざまな作品を演じます。ぜひご来場ください。

〔日 時〕 長崎原爆資料館平和学習室

〔場 所〕 7月6日(日) 14:00~16:00

〔入 場 料〕 無料

〔主な内容〕

- ・「ふりそでの少女」～松添博作「ふりそでの少女」より
- ・「原爆句抄」～「松尾あつゆき原爆句抄」より

## 祈念館をPR! 九州キャラバン

原爆死没者の追悼や平和祈念を目的に設立された追悼平和祈念館は、今年で5周年を迎えます。

しかし、祈念館は原爆資料館に比べて入館者数が伸び悩んでいるため、資料館で原爆の惨禍を学び、祈念館で死没者への追悼と平和への祈りを捧げるという相乗効果が十分に発揮できていません。

そこで特に児童・生徒にもっと当館を訪れてもらおうと「九州キャラバン」と銘打って資料館を訪れたことがある九州内の学校や教育委員会を訪問し、祈念館のPR活動を行いました。

訪問先では、当館の知名度の低さを改めて思い知らされもしましたが、設立目的や施設概要を説明したところ、各校では次はぜひ訪れたいとの返事をたくさんいただき、強い手応えが感じられました。

## 会員数報告

◎維持会員	1,303名
◎賛助会員	168名
◎臨時会員	4名
◎学生会員	8名

(平成20年6月6日現在)

## 寄付者紹介

ありがとうございます

◎滋賀県日野町立日野中学校  
一、八九九円

## ご報告

5月16日(金)、5月28日(水)にそれぞれ評議員会、理事会が開催され、平成19年度の事業実施状況及び決算について事務局より説明を行い、それぞれ承認されました。

おもな内容については、本誌2～3ページで紹介いたしますので、ご覧ください。